

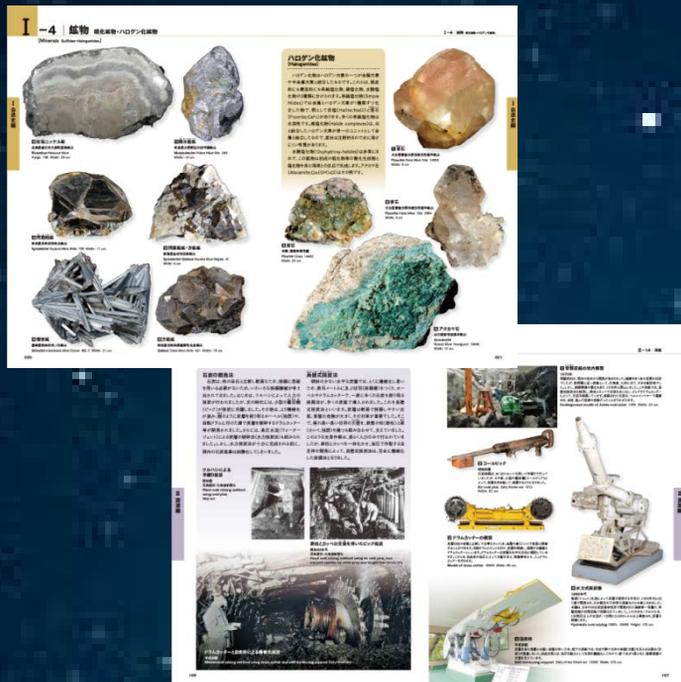


博物館だより

No. 226 2014.2

# ミニミニマイنز

## 待望の鉱業博物館解説書 3月3日発売



鉱業博物館  
解説書

鉱こう  
のきらめき

鉱業博物館 売店にて 3月3日(月)より販売  
フルカラー版 128頁 1,430円(5%税込)

この度、鉱業博物館100年に渡る歴史の中で初めて、当博物館で展示している標本を詳細に解説した本を発売することとなりました。フルカラー版128ページ、価格は1,430円、当館ミュージアムショップで発売いたします。

### 貴重な資料

当博物館では、秋田大学の長年における研究活動において集められた地質や鉱業に関連した資料を展示しております。学術的にも貴重な資料を後世に伝える私たちの役割の一環としてだけではなく、一般の方はあまり触れ合う機会のない鉱業を広く知ってもらうため、今回の発売へと至りました。

### 鉱のきらめき

タイトルである「鉱のきらめき」の「鉱」は、「鉱」の旧字体です。1961年に当博物館が設立された際設置された、鉱業博物館入り口の門構えにある看板も、この「鉱」の字を用いています。鉱物は、大体は私たちの身の回りにあふれる何の変哲もない、無機質なものです。しかし鉱物は古くより私たちの生活を支え、向上させてきた人類発展の立役者です。その内に秘めた輝きを皆さんに知って頂きたいという思いから、「鉱のきらめき」というタイトルを付けての販売に至りました。

### 展示に沿った解説

当博物館の展示は様々な色とかたちの鉱物・鉱石、珍しい岩石や化石を見ながら、地球の歴史や資源の生成について学び、実物の鉱山設備機械・模型から、資源開発の流れと鉱山技術を系統的に学ぶことが出来るような展示の流れとなっています。その流れを汲み、解説書の構成は始まりのページが館内展示の始まりとリンクしており、歩きながら読み進めると展示をより深く知ることが出来るようになっています。

### 楽しめるレイアウト

皆様と触れ合う機会の少ない学問であることからこそ、見ているだけでも楽しめるようなレイアウトに構成しました。さらに、実際の展示のさらなる解説はもちろん、新たに図表を用い、より展示の理解が深まるよう解説してあります。

3月3日月曜日より、鉱業博物館売店にて販売いたします。1910年の秋田鉱山専門学校設立から続く鉱業博物館の歴史と知識を、本書とともに実感して頂ければ幸いです。

博物館前への花の植え付け作業の様子。綺麗な風景の中散歩される方が大変多く、憩いの場となっています。



講習会の様子。博物館の展示について、専門家である館長から丁寧な解説を受けています。

鉱業博物館では、平成26年度サイエンスボランティアを募集しています。

今年度もたくさんのサイエンスボランティアの方々が博物館における活動の様々な面で強力にサポートしてくださいました。豊富な知識を生かした展示案内や、小中学校など団体見学時のサポート、プランターの植え付けなど、当博物館の顔としていつも活動してくださっています。

博物館が好きで何かに関わってみたい、人と接することがしたい、手先が器用など特技を生かしたい、社会貢献・生涯学習活動がしたいなど高校生以上の方であれば性別・職業を問わずどなたでもご参加いただくことができます。

ボランティア活動のサポート体制も充実しています。当博物館所属の秋田大学教員・研究員が、博物館や標本のことをわかりやすく解説する講習会や、関連施設や野外に出かけての研修会などを開催しています。得意な分野で、できる範囲で、あなたの能力を公の場で生かしてみませんか？

平成26年度サイエンスボランティアを募集しています

募集要項

活動内容

見学者への案内と説明  
見学者への見学サポート  
館内整備等のサポートなど

活動期間

1年間

募集対象

高校生以上の方であればどなたでもご参加いただけます

募集期間

平成26年1月24日(金)  
～3月28日(金)

申込先

鉱業博物館事務室までご連絡下さい  
(TEL:018-889-2461)



尾去沢へ研修に行った時の様子。坑道や資料館などを見学しました。この大きな銅板は、銅精錬の際に使用された電極です。



研修会での昼食会の様子。鉱山の歴史や裏話などのお話を聞きながら、院内銀山など他の鉱山関係者の皆さんと交流もありました。



第7回鉱業博物館市民向け開放講座

男鹿半島・大潟ジオパークのいま

平成26年2月20日(水)当博物館3階講堂にて、第7回鉱業博物館市民向け開放講座が開催されました。講師は博物館研究員、秋田大学名誉教授である白石建雄先生でした。今回は「男鹿半島・大潟ジオパークのいま」と題し、男鹿半島・大潟ジオパークがどんなところなのか、活動内容やジオパークの地域における重要性などについて講演して頂きました。

ジオパークとは、地質学的な遺産と自然・文化遺産を結びつけ、その地域の持続的な発展に貢献する「大地の公園」です。男鹿半島・大潟ジオパークは全国33あるジオパークの中で唯一干拓地である八郎潟を含みます。また、ジオパーク内に新しい火山を3つ有する他にも、中国や洞爺湖などの巨大噴火の噴出物からなる地層をはっきり見ることでできる大変珍しいジオパークです。

先生の講座によりジオパークがどういったものであるかを知り、また、地域的遺産の価値・重要性に改めて気づかされた講座でした。



講師の白石建雄先生

質問も飛び交い、受講者の皆様が積極的に参加して下さいました。講座となりました。



今回も大勢の方々にご参加頂きました。



講座終了後、ジオパークの解説ビデオが上映されました。